

野辺地地区保護司会

会報

のへじ

2018.3.1

第3号

野辺地地区保護司会 野辺地地区更生保護サポートセンター
〒039-3112 青森県上北郡野辺地町字中道20-1 野辺地町青少年体育センター内
TEL.0175-64-5234 FAX.0175-64-5234



人はみな、
生かされて
生きていく。



ご挨拶

野辺地地区保護司会
会長 木明昭一郎

寒波と降雪が続いた冬からようやく春を感じさせるこの頃ですが、会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。この度、平成29年度各支部の取り組んだ第67回“社会を明るくする運動”等をまとめた「会報第3号」の発行を心から嬉しく思います。また、今年度は8名の方を保護司として迎えることができました。心から歓迎申し上げます。会員皆様の一層のご協力をお願い致します。

第67回 “社会を明るくする運動”各支部主な活動

●野辺地町



挨拶運動(駅前)



メッセージ伝達式



書道展



トーク&ライブ(小学校)

1 朝のおはよう挨拶運動

7月3日、小・中学校玄関前、野辺地駅前に於いて、保護司、更生保護女性会及び町長、副町長、総務課長、介護・福祉課長、学務課長の参加のもと実施しました。

2 小、中学校で「松尾貴臣ころざしトーク&ライブ」

7月13日は野辺地中学校で、10月27日午前は野辺地小学校(馬門小児童も参加)、午後は若葉小学校で開催しました。

中学校では、代表の生徒が「……松尾さんの歌やお話はとても私たちの心に響きました……すごい方だと思いました。それは何度も人生の壁にぶつかっても自分の夢に向けてあきらめずに努力し続けていたからです。…(中略)…今日は本当にありがとうございます。」と感想を交えてお礼の言葉を述べています。

小学校では、トークの合間の「クイズ」でも盛り上がりました。また、松尾さんの祖父の実話をもとに作曲した「へんぺいそく」を聞き、亡くなった祖父のことを思い出した子どもが、ライブ終了後の花束贈呈で感極まり涙を流しておりました。

「トーク&ライブ」を通して、松尾さんの熱い思いが子どもたちの心に届き、一人ひとり生き方や考え方に大きな示唆を与えてくれたのではないのでしょうか。

●七戸町



七戸中学校訪問



東小学校訪問



城南小学校訪問



作文コンテスト表彰式

★ 作文コンテスト「全国連合小学校校長会会長賞・優秀賞」受賞

“第67回社会を明るくする運動”作文コンテストは、小・中学生の皆さんが日常生活の中で体験し、犯罪や非行などに関して考えたことや感じたことを作文に書くことにより“社明運動”への理解を深めてもらうことを趣旨としています。

町内6ヶ所の小中学校を訪問して校長及び担当教師にもこのコンテストの趣旨を説明し、多くの児童生徒に応募をして頂くようお願いしております。七戸町内から今年度は小学生13人、中学生24人の応募がありました。その中から城南小6年島田浩一朗さんの「支えあって生きる社会」が「全国連合小学校校長会会長賞・優秀賞」に見事選ばれ、1月12日「アスパム」（青森市）で開催された作文コンテスト表彰式で表彰されました。

●東北町



メッセージ伝達式



社会を明るくする運動ミニ集会



「生き生き文化まつり」会場

1 内閣総理大臣メッセージ伝達（かみきた夏まつり会場）

7月2日（日）上北町駅前広場で開催された「かみきた夏まつり会場」屋外ステージで内閣総理大臣メッセージ伝達式を実施しました。東北町更生保護女性会の乙供会長がメッセージを読み上げ、蛭名東北町長に伝達しました。その後会場内でパンフレット等の配布も行いました。

2 社会を明るくする運動ミニ集会

7月6日（木）東北町中央公民館で、保護司会も側面から協力して助言等を行い、更生保護女性会会員・日赤奉仕団・地元婦人会の方々が参加してミニ集会を開催しました。七戸警察署からは講師を派遣して頂き「振り込め詐欺等の現状」についてお話を伺いました。

3 東北町生き生き文化まつり会場での運動

11月4日（土）東北町生き生き文化まつりが開催されている会場内で、午前中は東北地区で、午後は上北地区で社明運動の昇り旗を持ち、町内2校の中学生ジャンプチームや人権擁護委員の方々と一緒にティッシュ等を配りながら薬物乱用防止等の啓蒙活動を実施しました。

ご指導を頂きながら頑張る所存ですので、よろしくお願い致します。



- ① 花松 了覚(はなまつ さとる)
七戸町支部 平成29年9月委嘱
- ② 山歩き
- ③ 無職(元役場職員)
- ④ 随分長いこと山を歩いている。美しい花を咲かせる高山植物や珍しい動物との出会い、不思議な現象など本当に面白い。南アルプスの両俣小屋でフランス人と話す機会があり、彼の「修行のために山を歩いています」という言葉に驚いた。登山は歩く座禅と言われる。「山、高くして尊からず」「百の頂に百の喜びあり」そのまま人間にも当てはまりそうだ。その心で保護司の活動に取り組みたい。



- ① 毛利 由美子(もうり ゆみこ)
野辺地町支部 平成30年3月委嘱
- ② 園芸、旅行 特技は手工芸
- ③ 介護支援専門員(平成30年3月31日までです)
- ④ 保護司の委嘱にあたり、自分とは無縁と思っておりましたが、今はこの任務を真摯に受け止めたいと思っています。今後の研修を通して諸先輩、関係機関の皆様からの指導助言を得ながら、新任としての学びを深め、精進してまいります。よろしくお願い致します。



- ① 蛭名 浩司(えびな こうじ)
東北町支部 平成30年3月委嘱
- ② 野球、スポーツ観戦、音楽鑑賞
- ③ 会社役員
- ④ 昨年に保護司のお話を頂き、少し戸惑いもありましたが、重責を引き受けることにしました。これから諸先輩の指導を仰ぎながら、社会貢献できるよう微力ながら頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。



- ① 鳥山 薫(とりやま かおる)
横浜町支部 平成30年3月委嘱
- ② マイブームとして「一人畑ごっこ」、将棋
- ③ サービス業(横浜町商工会事務局長)、元役場職員
- ④ 人生、セカンドステージに入り、機会あって保護司として辞令拝命しました。職務遂行のためにも心身を鍛えて、受容の精神をモットーに「時に厳しく、常にやさしく」を心情にして努力しますのでよろしくお願い致します。また、保護司の皆様には、色々な事例の引き出しをお持ちだと思いますので御教授をお願いいたします。



- ① 木村 豊治(きむら とよじ)
六ヶ所村支部 平成30年3月委嘱
- ② 歴史探訪、グルメ旅、アウトドアライフ
- ③ 会社員
- ④ 研修などを通してながら保護司の役割を学び、与えられた保護司としての任務を全うする意向で有ります。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

●横浜町



メッセージ伝達



ふれあいセンター懸垂幕



横浜小学校訪問



横浜中学校訪問

1 内閣総理大臣メッセージ伝達式、防災無線等で周知

7月、社会を明るくする運動の強調月間に合わせ、横浜町長への内閣総理大臣並びに青森県知事のメッセージ伝達式を行いました。町役場・担当課との連携により週1回防災無線で“社会を明るくする運動”の趣旨・町民の皆様の協力の必要性をお知らせしています。また、ホームページに掲載したり、公共施設等に懸垂幕、のぼり旗、ポスター等の掲示をしたりして“社会を明るくする運動”の趣旨を広く周知しています。

2 学 校 訪 問

夏休み前、小学校・中学校を訪問し、各校長先生と社明運動の趣旨、必要性を話し合いました。犯罪や非行防止、「おかえりなさい」の必要性を全校児童・生徒に周知いただけるよう、リーフレット、ティッシュ、クリアファイルの配布と運動への参加、そして作文コンテスト等への応募を依頼してきました。

●六ヶ所村



内閣総理大臣メッセージ伝達と懇談



役場庁舎へ垂れ幕掲示



★ メッセージ伝達式、垂れ幕など掲示して周知

六ヶ所村は地域が広く支部全域での活動が非常に難しく、支部での活動としては、毎年“社会を明るくする運動”強調月間の7月上旬に六ヶ所村役場にて村長へ直接メッセージを伝達し、活動への協力を依頼し、懇談を行っています。

他には役場前に旗、横には垂れ幕を掲げてもらったり、庁舎内に社明入りのティッシュとパンフレットを置いて配布してもらったり“社会を明るくする運動”の地域住民への周知に協力を頂いています。

能 登 甚 五 郎 様

長い間…… 本当にお疲れさまでした

能登甚五郎様（六ヶ所村支部）は、平成30年2月28日をもって任期満了でご退任なされました。30年間にわたる保護司としてのご活躍とご指導に感謝申し上げます。長い間、本当にお疲れさまでした。有り難うございました。



30年間を振り返って

能登 甚五郎

昭和63年5月、当時六ヶ所村長の古川氏より保護司という仕事のお話があり、断るわけにもいかず引き受けました。最初、青森保護観察所に出向いて説明を受けました。保護司が大変な仕事であることは法律事務所勤務時代の20歳の頃から知ってはおりましたが、まさか自分がこのような仕事をするとは思っていませんでした。昭和55年、56年頃から村の人口は徐々に増えてきました。いったい村はどう変わっていくのだろうと心配になってきた程です。まず、日本石油備蓄会社が建設され、続いて日本原燃株式会社が建設されて六ヶ所村はすごく変わってきました。知らない人たちが、働くために多く村に入ってきたからです。

私は、保護司として これまで次の3つを忘れないように努めてまいりました。

- 心を開いてみんなと接すること
- 相手の目を見て話すこと
- 相手の話は真剣に聴くこと

このことは、保護司を退任した後も日常生活の中で意識していきたいと思っております。皆様が御健康で御勤務なされますことを心より願っております。ありがとうございました。



新任保護司(29年度委嘱)

①氏名・所属など ②趣味や特技 ③職業 ④メッセージ



- ① 青山 一航(あおやま いっこう)
七戸町支部 平成29年9月委嘱
- ② バラエティー番組視聴
- ③ 僧侶
- ④ この度、ご縁を頂き七戸町支部の保護司として任命を受けました。保護司についてまだまだ不勉強なうえ、人生経験の浅い若輩者でございます。それでも、せつかくこのような機会に恵まれましたので、自分ならではの視点で貢献できればと思っています。ご指導、ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



- ① 天間 良一(てんま りょういち)
七戸町支部 平成29年9月委嘱
- ② 旅行・空手(全日本空手道連盟3段)
- ③ 七戸町教育委員会臨時職員(中部上北広域事務組合消防本部42年間勤務)
- ④ 「保護司」は耳にしたことがありますが、意味は全くわからないまま去年誘われて引き受けました。9月に青森保護観察所で新任保護司研修会が2回あり、野辺地地区から4名参加しました。研修会はとても高度で難しく、今後自分が職責を果たせるか不安でした。でも、野辺地地区先輩保護司の先生方をはじめ、皆様方からご指導を仰ぎながら一生懸命頑張る所存ですのでどうぞよろしくお願い致します。



- ① 附田 繁志(つくた しげし)
七戸町支部 平成29年9月委嘱
- ② 特になし
- ③ 元地方公務員(七戸町役場)
- ④ 定年退職後は、「何か恩返し出来ないか」と考えていた矢先、保護司を拝命し改めて身の引き締まる思いであります。
これまでに、保護司会の研修会等に参加し、先輩保護司の皆さんの積極的な姿勢を拝見して、一層の責任の重大さを感じました。今後とも、皆様方